事例No.	2486
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	からつ七つの島活性化協議会

事例区分	地域活性化

タグ	・移住定住 ・関係人口 ・教育・子育て

事例種類	地域振興

事例内容・タイトル

ななつの島で宝さがし留学～自分だけの宝探しと第２のふるさととして～

出典

令和3年度優良事例表彰一覧

全国過疎地域
連盟会長賞

からつ七つの島活性化協議会

ななつの島で宝さがし留学
～自分だけの宝さがしと第２のふるさととして～



島留学の現地説明会の様子。島の暮らしや島で体験できることを島の方が教えてくれる。初めて釣りをする参加者も多く、喜ばれている。島の方も留学生が来るのを楽しみにしている。

事例の概要

玄界灘に浮かぶ「からつの七つの島」（「高島」、「神集島」、「小川島」、「加唐島」、「松島」、「馬渡島」、「向島」）では、子供の人口減少が大きな問題となっており、「島から子どもの声を絶やしたくない」との島民の想いから、平成 29 年度より島外の子どもを島の学校に受け入れる島留学の取組を開始し、高島、小川島、加唐島、馬渡島の４島で島留学生を受け入れた。

全国的に離島留学・山村留学事業が次々と立ち上がり、留学先の選択肢が多様化する中、離島特有の個性を生かした留学となるように協議会をはじめ、島民で構成する「島留学実行委員会」や学校と連携し留学生の受け入れを行っている。

島留学を経験し、島を出るときには「島の子ども」として旅立っていく。この島を第２のふるさととして帰ってきてほしいという願いの元、このような留学生が増えることは将来的な関係人口の増加につながっていく。



島留学の現地説明会の様子。
加唐小中学校の教室からは唐津の本土や長崎の島など見え、絶景が広がる。

評価のポイント

佐賀県唐津市の『からつ七つの島活性化協議会』では、「ななつの島で宝さがし留学」と称して、島留学を進めている。子どもたちを受け入れている島は高島、小川島、加唐島、馬渡島の４島で、平成 29 年より段階的に開始され、令和２年度までに延べ 26 名の島留学生が誕生した。地域に子どもたちが歩き、笑う姿が増えることは、過疎地域にとってはまちづくりの大きな一歩である。この持続性をまずは評価したい。

唐津市の集落支援員で、離島担当の方にお話をうかがったところ、「留学生たちは一年を通じて島の暮らしと学びを経験することで、島の四季の豊かさや、大人たちのあたたかさを感じ、島を第二のふるさととして感じ、成長してくれている」とのことで、将来的な関係人口となるベースが広がっていく施策のように感じた。島での授業や学校内での体験には「授業で釣り大会」や「みんなで給食」など、見るからに楽しそうな、子どものときにこそ体験しておくべき「生きる教育」がなされ、島の人との穏やかな交流の様子が伝わってくる。広報戦略もあり、とくに福岡や博多といった近隣の大都市圏からの家族での留学や個人での留学が多いとのことだが、都会の暮らしではどうしても得にくい、海と人に触れ合うことで培える、「いきものとしての力」が養えているだろう。実際、「漁師になりたい」「とにかく魚が好き」などといった親や子どもたちの夢や志向に面接で親身に対応をして、留学に適する島を細やかに振り分け、各人や家族の成長を促している。「留学したことで魚をさばくのが上手になった子も」という集落支援員の方の言葉に幸せな時間の蓄積を感じた。思いきって、全国の「釣り好き家族」に絞った広報を行っても響くくらい、島の時間は充実している。

これから必要となってくるのは、それぞれの島内にさらなる理解者（地域内関係人口）を増やし、負荷を軽減して受け入れ疲れを緩和していくこと、そして島に子どもたちやその家族が関わるため、あるいは居残っていくための、若い人を呼び込める産業づくりだろう。あわせて家族での移住者が地域に住むための物件の確保も並行して行うことも効果的かもしれない。集落支援員の方にこの仕事を続けている理由を聞くと「唐津のことが好きだから」との答えがあった。「好き」は何かを無理なく続けていくいちばんの原動力だ。若い家族が移住を行ううえでも、留学と島の産業づくり、二元の視点で集落支援員と協議会のみなさんが、どう戦略を編み出していくかがこれからますます楽しみである。



「七つの島対抗スポーツ大会」の様子。毎年、島を変え行っている。スポーツ大会よりもその後に行う懇親会が重要。年齢に関係なく交流が行われる。



定期的に唐津市七山で七つの島物産展を行っている。
商品の販売だけではなく、島同士の意見交換や交流の場にもなっている。若者も参加してくれるようになった。



先進地視察。以前は区長さんをはじめ、参加者の年齢層が高かったが、最近は若者の参加も増え、若者目線の島づくり、地域づくりが行われている地域への視察を行っている。

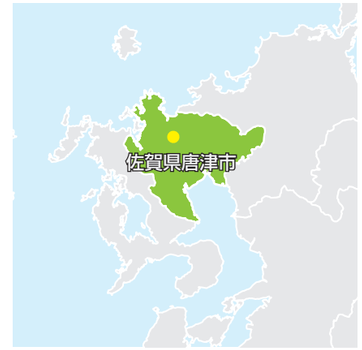
DATA

佐賀県 唐津市（からつし）

団体名▶からつ七つの島活性化協議会
所在地▶〒 847-8511 佐賀県唐津市西城内１番１号　唐津市役所未来創生部離島振興室内
連絡先▶ TEL：080-2758-9164
E-mail：karatsu.7islands.co@gmail.com
URL：http://7-islands.net/

【交通のご案内】

自動車▶西九州自動車道　唐津 IC　35 分
長崎自動車道　多久 IC　１時間
※航路発着所（呼子港）までの時間
鉄　道▶JR 筑肥線快速利用　博多駅から唐津駅　１時間 15 分
JR 筑肥線普通列車利用　博多駅から唐津駅　１時間 25 分
唐津駅から航路発着所（呼子港）までタクシー利用　30 分
航　路▶向島　星賀港から 15 分　加唐島　呼子港から 17 分
松島　呼子港から 15 分　馬渡島　呼子港から 39 分
小川島　呼子港から 20 分　名護屋港から 24 分



● 国勢調査人口　（単位：人）

市町村名	昭和 35 年	昭和 55 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年
唐津市	173,866	142,224	134,144	131,116	126,926	122,785
（旧）肥前町	14,576	11,118	9,125	8,660	7,883	6,982
（旧）鎮西町	11,178	8,626	7,402	6,906	6,258	5,442
（旧）呼子町	9,608	7,367	6,155	5,643	5,184	4,600

●人口増減率　（単位：%）

市町村名	H27/S35	H27/S55	H27/H12	H27/H17	H27/H22
唐津市	-29.4	-13.7	-8.5	-6.4	-3.3
（旧）肥前町	-52.1	-37.2	-23.5	-19.4	-11.4
（旧）鎮西町	-51.3	-36.9	-26.5	-21.2	-13.0
（旧）呼子町	-52.1	-37.6	-25.3	-18.5	-11.3

● 高齢者・若年者比率（H27 年）　（単位：%）

市町村名	高齢者比率	若年者比率
唐津市	29.2	13.0
（旧）肥前町	35.2	11.5
（旧）鎮西町	34.4	10.8
（旧）呼子町	34.0	9.9